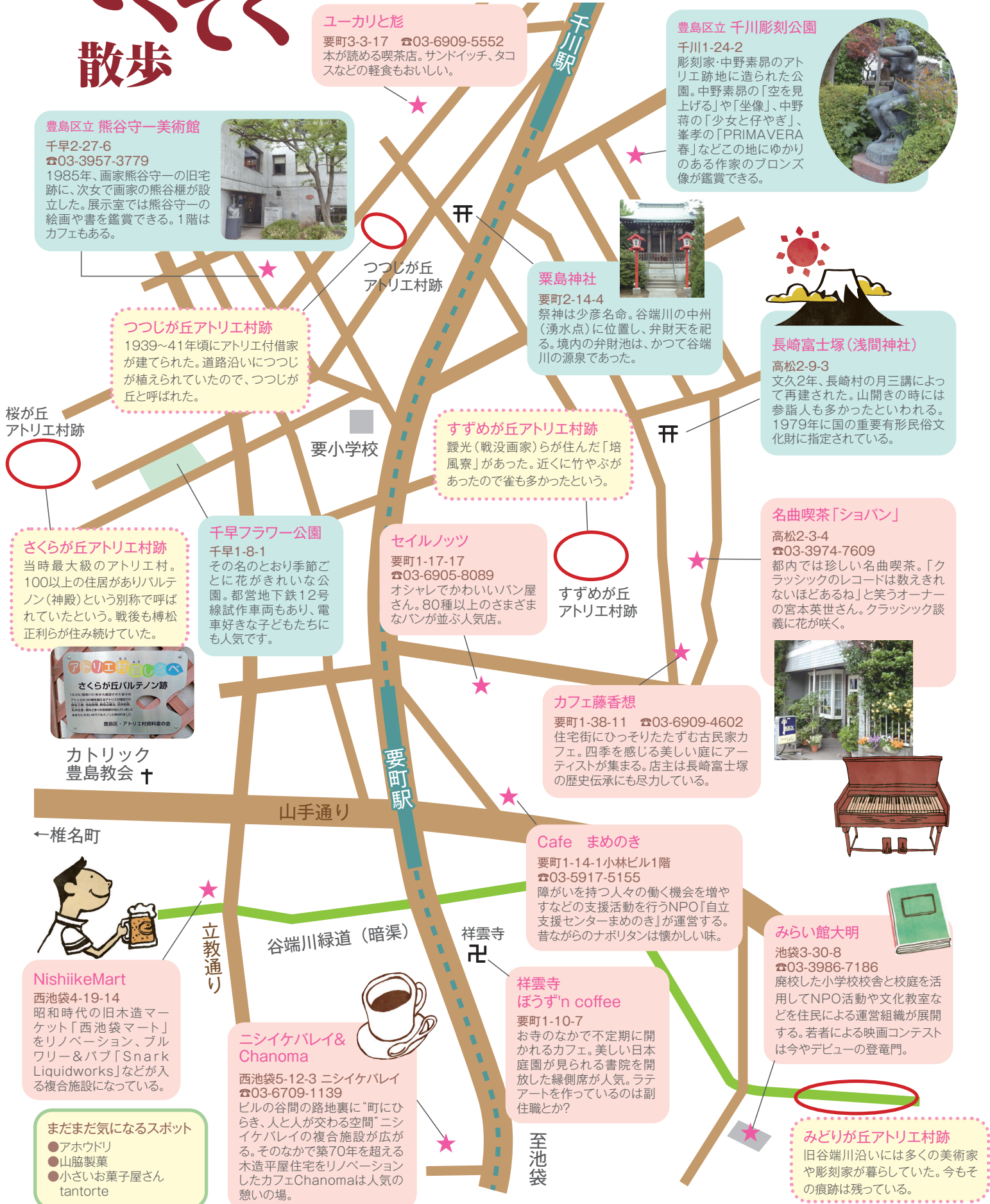


要町・千川 てくてく 散歩

昭和初期には「池袋モンパルナス」と呼ばれた若き芸術家が全国から集まるアトリエ付住居が随所にあった。

それぞれの群集は呼称がつけられていたという。今も美術館や彫刻公園などその雰囲気が残るなか、若者によるニュースポットも次々に登場している注目のエリアにもなっている。



豊島区立 熊谷守一美術館

千早2-27-6
☎03-3957-3779
1985年、画家熊谷守一の旧宅跡に、次女で画家の熊谷権が設立した。展示室では熊谷守一の絵画や書を鑑賞できる。1階はカフェもある。



ユーカリと彫

要町3-3-17 ☎03-6909-5552
本が読める喫茶店。サンドイッチ、タコスなどの軽食もおいしい。

豊島区立 千川彫刻公園

千川1-24-2
彫刻家・中野素昂のアトリエ跡地に造られた公園。中野素昂の「空を見上げる」や「坐像」、中野蔭の「少女と仔やぎ」、峯孝の「PRIMAVERA 春」などこの地にゆかりのある作家のブロンズ像が鑑賞できる。

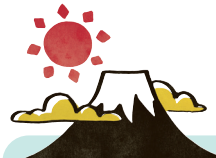


つつじが丘アトリエ村跡

1939~41年頃にアトリエ付借家が建てられた。道路沿いにつつじが植えられていたので、つつじが丘と呼ばれた。

粟島神社

要町2-14-4
祭神は少彦名命。谷端川の中州(湧水点)に位置し、弁財天を祀る。境内の弁財池は、かつて谷端川の源泉であった。



長崎富士塚(浅間神社)

高松2-9-3
文久2年、長崎村の月三講によって再建された。山開きの時には参詣人も多かったといわれる。1979年に国の重要有形民俗文化財に指定されている。

桜が丘アトリエ村跡



さくらが丘アトリエ村跡

当時最大級のアトリエ村。100以上の住居がありパルテノン(神殿)という別称で呼ばれていたという。戦後も榎松正利らが住み続けていた。



カトリック
豊島教会 +

千早フラワー公園

千早1-8-1
その名のとおり季節ごとに花がきれいな公園。都営地下鉄12号線試作車両もあり、電車好きな子どもたちにも人気です。

すずめが丘アトリエ村跡

巖光(戦没画家)らが住んだ「培風寮」があった。近くに竹やぶがあったので雀も多かったという。

セイルノッツ

要町1-17-17 ☎03-6905-8089
オシャレでかわいいパン屋さん。80種以上のさまざまなパンが並ぶ人気店。

すずめが丘アトリエ村跡



名曲喫茶「ショパン」

高松2-3-4 ☎03-3974-7609
区内では珍しい名曲喫茶。「クラシックのレコードは数えきれないほどあるね」と笑うオーナーの宮本英世さん。クラシック談義に花が咲く。



カフェ藤香想

要町1-38-11 ☎03-6909-4602
住宅街にひっそりたたずむ古民家カフェ。四季を感じる美しい庭にアーティストが集まる。店主は長崎富士塚の歴史伝承にも尽力している。

Cafe まめのき

要町1-14-1小林ビル1階 ☎03-5917-5155
障がいを持つ人々の働く機会を増やすなどの支援活動を行うNPO「自立支援センターまめのき」が運営する。昔ながらのナポリタンは懐かしい味。

みらい館大明

池袋3-30-8 ☎03-3986-7186
廃校した小学校校舎と校庭を活用してNPO活動や文化教室などを住民による運営組織が展開する。若者による映画コンテストは今やデビューの登竜門。



ニシイケバレイ& Chanoma

西池袋5-12-3 ニシイケバレイ ☎03-6709-1139
ビルの谷間の路地裏に「町にひらき、人と人が交わる空間」ニシイケバレイの複合施設が広がる。そのなかで築70年を超える木造平屋住宅をリノベーションしたカフェChanomaは人気の憩いの場。



祥雲寺 ぼうず'n coffee

要町1-10-7
お寺のなかで不定期に開かれるカフェ。美しい日本庭園が見られる書院を開放した縁側席が人気。ラテアートを作っているのは副住職とか？



NishiikeMart

西池袋4-19-14
昭和時代の旧木造マーケット「西池袋マーケット」をリノベーション、プルワリー&バブ「Snark Liquidworks」などが入る複合施設になっている。

まだまだ気になるスポット

- アホウドリ
- 山脇製菓
- 小さいお菓子屋さん tantorte